



1. 二人だけの世界（保原地域・チンチン電車広場）/2. 霊山のまちなかを明るく照らす（霊山地域・掛田まちなかサロンヨッテミ）/3. 雪だるまがお出迎え（梁川地域・まちの駅やながわ）/4. 静かな青の光に心癒される（伊達地域・天王通り商店街イベント広場）

## 「伊達の冬、夜のドライブ」

市内各地でイルミネーションが始まり、伊達の夜を明るく照らしています。それぞれのイルミネーションには「市内を少しでも明るくしたい」という思いが込められています。今年の冬は、そのような温かい気持ちを感じながら、市内各地のイルミネーションを巡るドライブに出かけるのはいかがですか。冬の澄んだ空気の中、イルミネーションの光は一層美しく輝き、車窓から見えるあちらこちらの家のイルミネーションも、きっとワクワクさせてくれると思います。伊達市の皆さんにとって、2023年がすばらしい年になりますように。



市長コラム 第49回

### 「市民憲章作文を読んで」

須田博行

去る12月11日、令和4年度伊達市民憲章作文コンクールの表彰式を行いました。この作文コンクールは、伊達市の未来を担う市内の小中学生が、作文を通じて市民憲章に込められた意味を考えながら、自分の将来や伊達市の未来のために何ができるかを考えるきっかけになってほしいと、平成29年度から実施しています。

今回は、市民憲章の一つ「まもりましよう ふるさとの自然と歴史を」をテーマに695点の応募があり、その中から特に優秀と認められた作品22点を決定しました。受賞された皆さん、本当におめでとうございます。

受賞作品はどれもすばらしく、ふるさとを大切に思う気持ちや、地域の歴史文化を継承していくことの大切さ、自然環境保全に対する強い思いなど、自分にできることを一生懸命考えている作品ばかりでした。自然を守るために「果物のおいしさをたくさんの人に知ってもらおう、川を汚したりゴミ

を捨てない、庭などに植物を植えて緑でいっぱいにする」等々。歴史を守るために「地元の歴史や文化を調べて紹介する、伝統芸能を体験する」等々。身近にある自然や歴史を大切に、今日まで守ってきたくれた先人や地域の人への感謝の気持ちが、全ての作品に溢れていました。

市では現在、今後10年間のまちづくり計画を策定しています。伊達市の宝である人、自然、農業、歴史を大切に、未来に輝くまちを創っていくとの思いから、将来像を「人と緑と歴史が結び合うひかり輝く田園空間・伊達市」と決めました。子どもたちが作文に込めた思いを計画に反映し、伊達市のすばらしい自然と歴史を未来を担う子どもたちに受け継いでいかなければならないと、改めて心に誓いました。

受賞作品は今後、作品集やホームページで紹介しますので、ぜひ読んで、子どもたちの熱い想いを感じていただきたいと思います。